取扱説明書

HITACHI
―― 品質を大切にする〈技術の日立〉 ――

日立CDラジオカセットレコーダー
CX-17W形

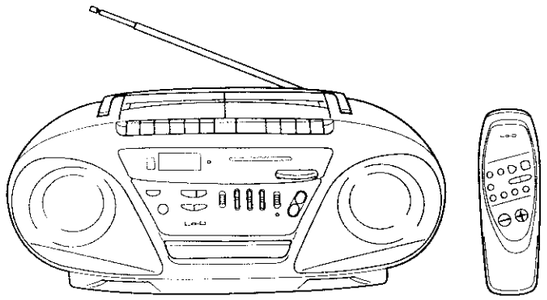
このたびは、日立CDラジオカセットレコーダーをお求めいただきまことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は保証書、ご相談窓口一覧表と共に大切に保存してください。

目　次

ページ

特長 2
電源について 3
各部の名称 4
リモコンの使いかた 6
音量・音質調節について 8
ヘッドホンでお聴きになるとき 8
コンパクトディスクについて 9
CDを演奏してみましょう 10
CD演奏の便利な使いかた 12
- ●ダイレクト選曲　●スキップ選曲
- ●マニュアルサーチ　●プログラム選曲
- ●ランダムプレイ　●イントロスキャン
- ●1曲リピート　●全曲リピート

放送の受信 17
アンテナについて 18
テープ再生・録音を始める前に 19
再生してみましょう（TAPE1 TAPE2） 20
再生の便利な使いかた（連続再生） 21
録音するには（ラジオ録音） 22
録音するには（CD録音） 24
録音するには（テープ録音　ダビング） 26
特に注意していただきたいこと 27
お手入れのしかた 28
故障かな？と考える前に 29
仕様 30
保証とアフターサービス(必ずお読みください。) 31
著作権について 31



Lo-D

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

新商品情報・商品選択など　家電品のお買物相談を承る窓口
0120-312111
お買物相談センター

お客様メモ：サービスを依頼されるとき、お役にたちます。

購入店名：　　電話

ご購入年月日：　平成　　年　　月　　日

ーメモー

株式会社 日立家電
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

P.N.: 3871S-2036B

特長

■ワイヤレスリモコン
付属のワイヤレスリモコンにより，音量調節やCDプレーヤーの多彩な演奏を楽しむことができます。
■3バンドグラフィックイコライザー
3バンドグラフィックイコライザーにより、音質を好みに調節できます。
■フロントローディングCDトレー
■4W＋4Wの大出力アンプ搭載

チューナー部

■AM/FM/TV放送受信
AM/FM/TV(1ch～3ch)が受信できます。

カセットレコーダー部

■CDシンクロ録音
ワンタッチでCDを録音できます。プログラム選曲と組み合わせれば、ご希望の曲だけ録音することもできます。
■連続再生
TAPE1の再生が終わるとTAPE2の再生が自動的に始まる連続再生が可能です。
■フルオートストップメカ
テープエンドで操作ボタンが自動的にもどる便利な機能を採用しています。
■高速ダビング

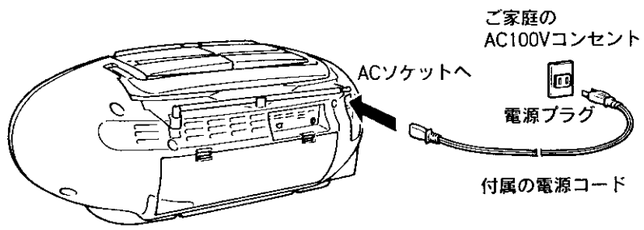
CDプレーヤー部

■ランダムプレイ
ディスクに収められている曲の順番を自動的に並べ変えてランダム(順不同)に演奏します。
■プログラム選曲
CDの中から最大20曲まで自由にプログラムして演奏できます。
■ダイレクト選曲
スキップボタンを使って、希望の曲から演奏を始めることができます。
■くり返し演奏
1曲、全曲、プログラムした曲およびランダムプレイ、イントロスキャンのくり返し演奏をすることができます。
■時間表示機能
リメインタイム……CD演奏時に残り時間がわかり編集に便利です。
(CDシンクロ録音時などは表示されません。)
■イントロスキャン
ディスクに収められている曲の始めの部分(イントロ)を、約10秒ずつ演奏します。
■8cmディスク演奏可能
12cmディスクに加えアダプターなしでそのまま8cmディスクの演奏ができます。

■ステレオ音のエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

電源について

ご家庭のAC100V電源で使うとき

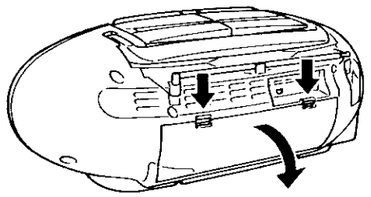


ご注意

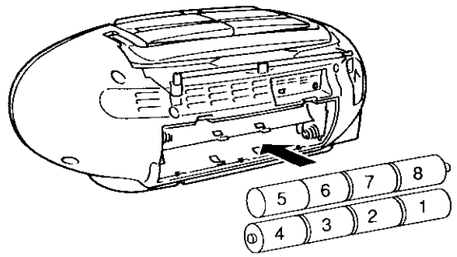
- 長時間ご使用にならない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 他の電源コードは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

乾電池で使うとき

1 電池ふたの「つめ」を下に押しながら、ふたを開けます。



2 単1乾電池（別売り）8本を番号順に図のように入れます。



乾電池の交換について

乾電池が消耗すると電源インジケーターが暗くなって見づらくなります。このようなときは乾電池を8本とも新しい乾電池に交換してください。

ご注意

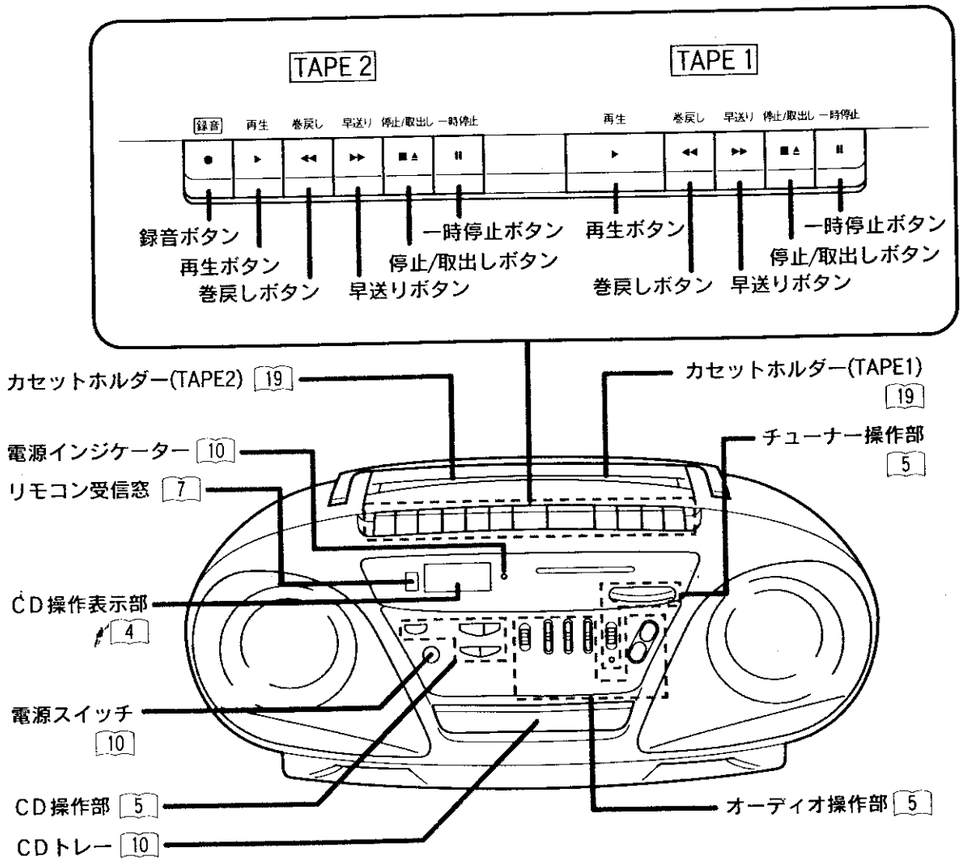
乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。

①乾電池は、⊕プラスと⊖マイナスの向きを間違えないよう、正しく入れてください。
②新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
③種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）を混ぜて使用しないでください。
④長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。
⑤乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

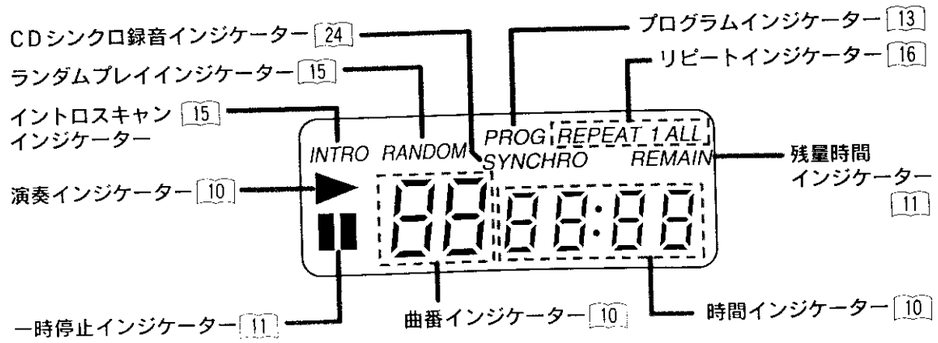
各部の名称

□内の数字は参照ページを示します。

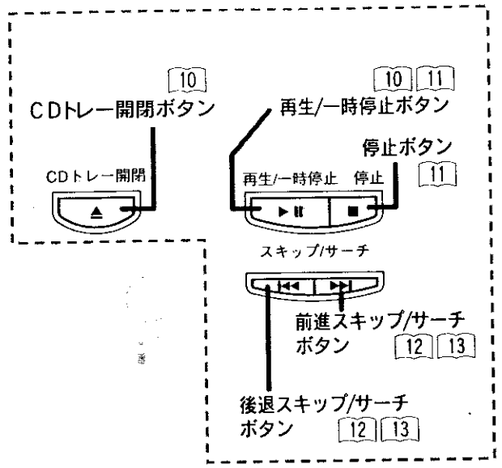
テープ操作部 [19]～[25]



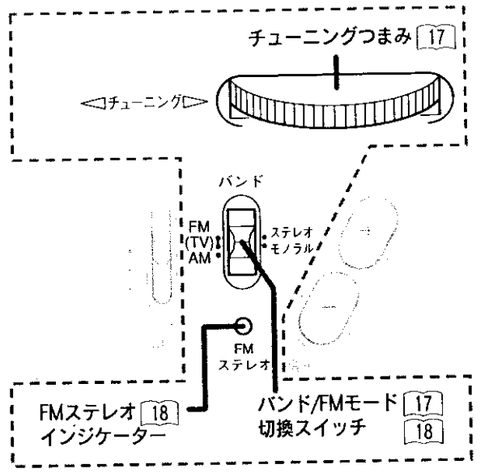
CD操作表示部



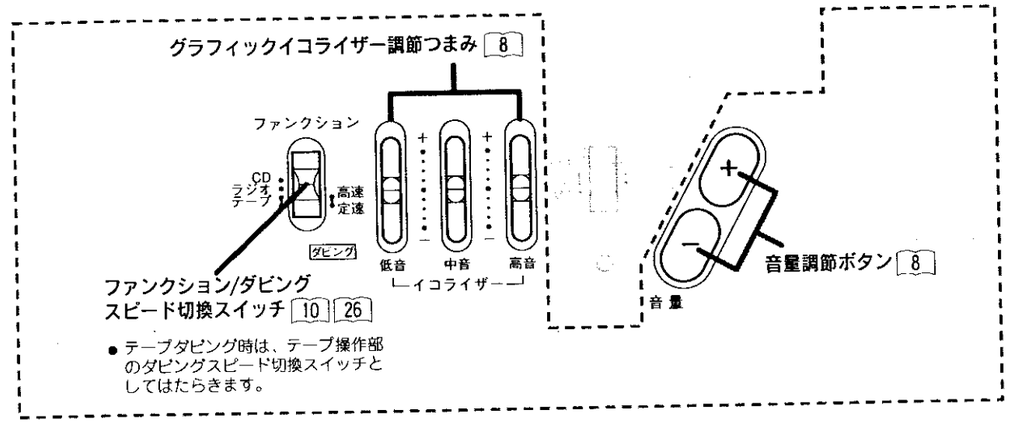
CD操作部



チューナー操作部

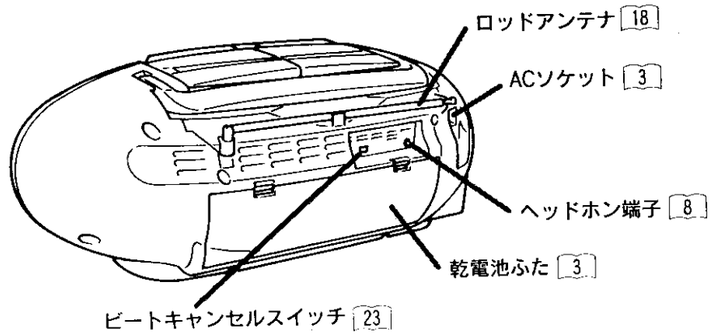


オーディオ操作部



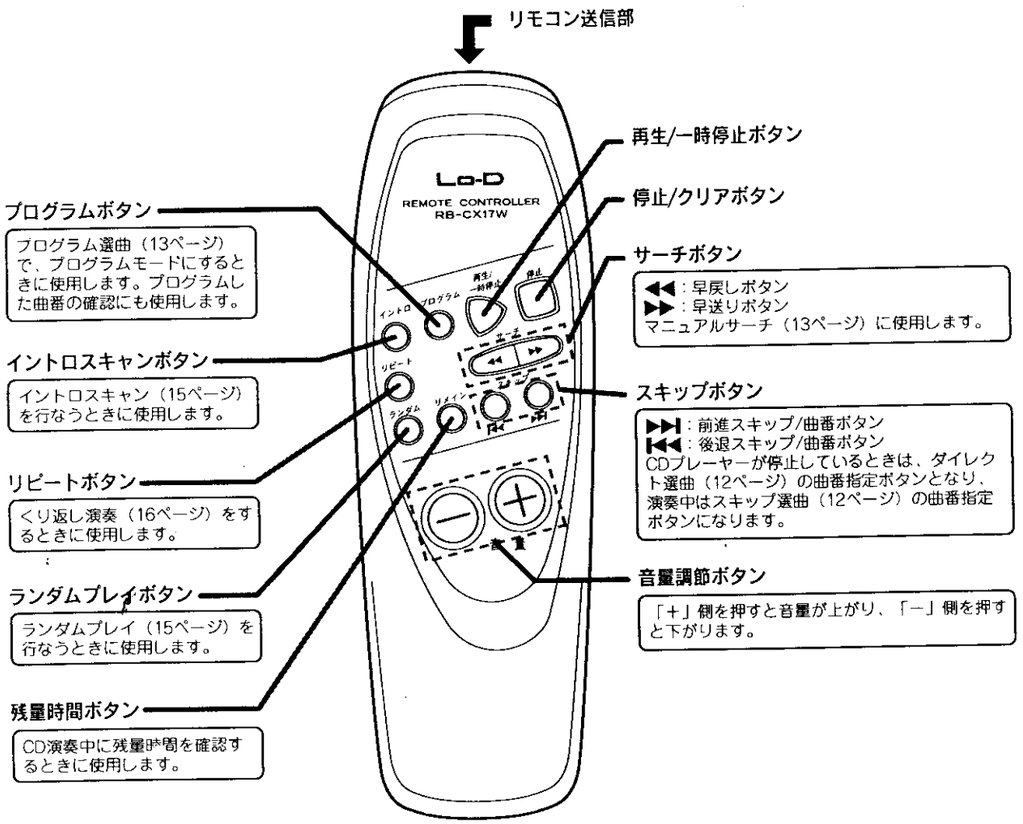
● テープダビング時は、テープ操作部のダビングスピード切換スイッチとしてはたらきます。

後面



リモコンの使いかた

各部の名称とはたらき

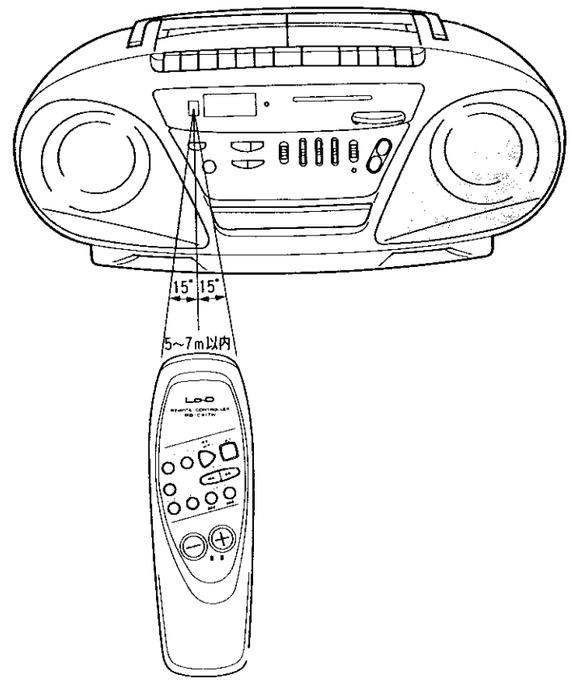


操作時のご注意

- リモコンを操作するときは、ゆっくりと確実にボタンを押してください。操作ボタンの早押しをすると、本体が受け付けないことがあります。
- リモコンとリモコンセンサーの間に障害物があると、リモコンが動作しないことがあります。
- リモコンの乾電池が消耗すると、リモコンの動作範囲内でも動作しないことがあります。そのときは2本とも新しい乾電池と交換してください。
- リモコンに水などの液体をかけたり、滴下させないでください。内部に液体が入ると、リモコンでの操作ができなくなります。

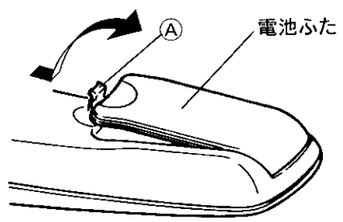
リモコンの使える範囲

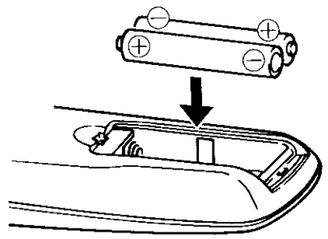
リモコンは、本体のリモコンセンサーに向けて操作してください。
動作範囲は、リモコンセンサーに対して、上下左右方向で約15°ずつ、直線距離で5～7m以内です。それ以外の範囲では、本体が受け付けないことがあります。



電池の入れかた

①電池ふたのⒶ部を矢印の方向に引き上げると、電池ふたがはずれます。
②電池の⊕、⊖を確認して正しく入れてください。電池は付属の単4乾電池2個を使用します。
③電池を入れ終わったら、電池ふたを取り付けます。
乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。3ページの乾電池に対する「ご注意」をよくお読みになって、正しく取り扱ってください。

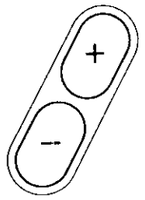




音量・音質調節について

● リモコン マーク付きの操作は ……リモコンでも操作できます。

音量調節のしかた

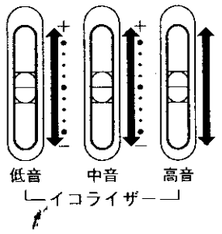


音量

ボタンの「＋」側を押すと音が大きくなり、「−」側を押すと小さくなります。

- 音量の大きさは一度電源を切りますと、小音量の一定の大きさに設定されます。次に電源を入れたときは、お好みの音量に調節してください。
- 録音レベルの高いCDやテープなどを再生するとき音量を上げすぎると音がひずんだり、スピーカーを破損する恐れがあります。音量調節に充分注意してください。

音質調節のしかた



音質はグラフィックイコライザー調節つまみで調節します。
つまみを上（＋）側にすると、その音域の音が強調され、下（−）側にすると弱められます。
自分の好みに合わせて調節してください。
中央(●)の位置がフラットとなります。

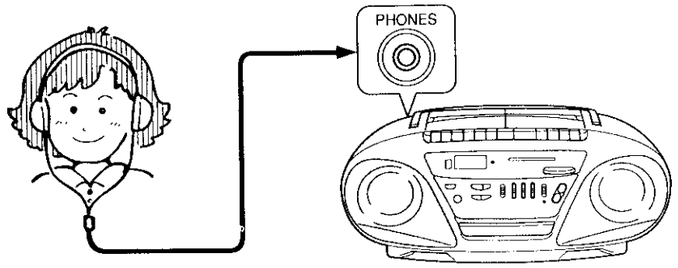
高音 ……シンバルなどの高音域の音に効果があります。

中音 ……ボーカルなどの中音域の音に効果があります。

低音 ……ドラムなどの低音域の音に効果があります。

ヘッドホンでお聴きになるとき

夜間などにヘッドホンで音楽を楽しまれるときは、別売のステレオヘッドホン（HD-M44など）のステレオミニプラグを本体のヘッドホン端子に差し込みます。ヘッドホンの音量は、音量調節ボタンで調節します。ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーから音は出なくなります。



ヘッドホンは耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

コンパクトディスクについて

本機のCDプレーヤーで演奏できるディスクは、左記のマークがついているものです。

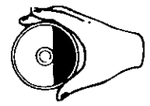
①

右手で左右を持ち、左手で上下を持ってフタを開けます。

②

センターホルダーを押さえながらディスクを持ち上げます。

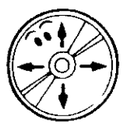
③

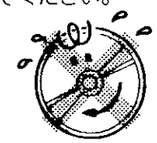


ディスクの縁を持ち、表面に触れないように扱ってください。

取り扱いについて

- 指紋、油、ゴミなどをつけないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向けてふいてください。



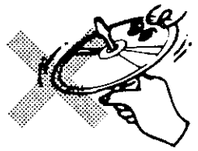


- 熱を加えないでください。

- 曲げたりしないでください。

- 表面に傷をつけないように、特にケースからの出し入れには注意してください。

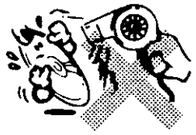
- 中心の穴を大きくしないでください。



- レーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。

- ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電防止剤、シリコンクロスなどでふかないでください。

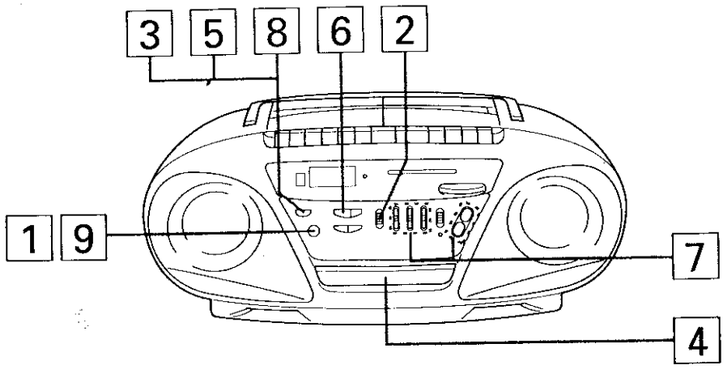
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと、表面に水滴がついて演奏できないことがあります。このときは、乾いた柔らかい布で水滴をふいて乾燥させてから使用してください。なお、水滴はヘアードライヤー等で乾かさないでください。



保管について

- 長期間本機を使用しないときは、必ずディスクを本機から取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 次のような場所には置かないでください。ディスクに反りなどが生じて、演奏できなくなることがあります。
  1. 直射日光が長時間あたるところ。
  2. 湿気、ほこりなどが多いところ。
  3. 暖房機具などの熱が当たるところ。

CDを演奏してみましょう



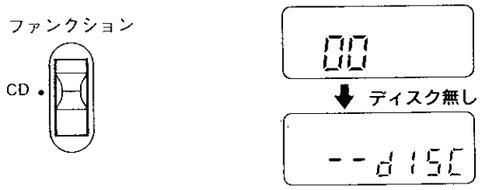
● マーク付きの操作は ……リモコンでも操作できます。

たとえば12曲入りのディスクの1曲目から演奏を始めるには

1 電源を入れる。

電源インジケーターが点灯します。

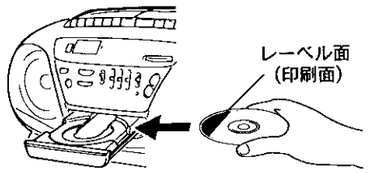
2 ファンクション切換スイッチを「CD」にする。



3 CDトレーを開ける。

ディスプレイに"OPEN"と表示されます。

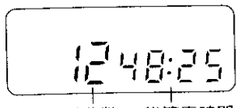
4 ディスクをセットする。



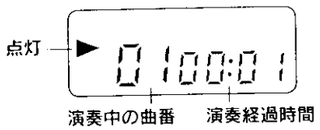
CDトレーの中央に確実にのせます。
正しくのせないとディスクを傷めることがあります。

5 CDトレーを閉める。

CDトレーを閉めると"00"表示のあと総曲数、総演奏時間が表示されます。

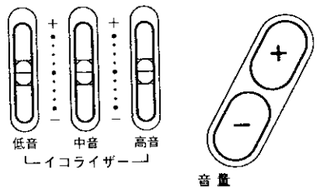


6 演奏を始める。



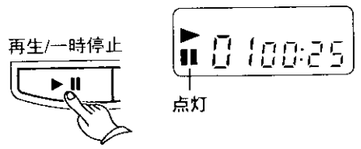
7 音量・音質を調節する。

リモコン操作は音量調節のみです。



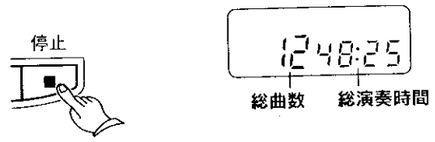
くわしくは8ページをご覧ください。

演奏の一時停止



演奏を再開するときは、もう一度押します。

演奏を途中で止めるとき



すべての演奏が終了したときは、自動的に止ります。

聴き終わったら

8 ディスクを取り出す。

ディスクを取り出したらCDトレーを閉めます。

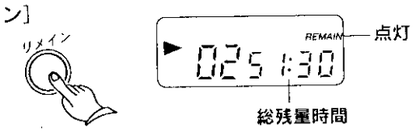
9 電源を切る。

電源インジケーター消灯。

残量時間表示機能について（リモコン操作のみ）

演奏中または一時停止中にリモコンの残量時間ボタン(リメイン)を押すと、演奏中のディスクの総残量時間を表示させることができます。
また全曲くり返し演奏の場合は1回分のくり返しの総演奏時間に対する残り時間を表示します。

[リモコン]



表示を戻すときは、もう一度残量時間ボタンを押します。

■以下のときは残量時間ボタンを押しても受けつけません。

(1) ランダムプレイ中
(2) 1曲リピート演奏中(全曲リピート演奏中は受けつけます。)
(3) イントロスキャン中
(4) プログラム演奏中
(5) CDシンクロ録音中

ご注意

- 携帯しながらの演奏で、本機に衝撃が加わったときなどに、音とびが生じることがありますが、これは故障ではありません。
- CDトレーに異物を入れたり、CDトレーを手で開閉したりしないでください。故障の原因になります。
- CDプレーヤーを使用しないときは、ゴミやホコリを防ぐため、CDトレーを閉じておいてください。
- テレビの近くでCDを演奏すると、テレビの画面や音声に影響を与えることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。

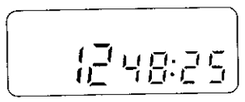
CD演奏の便利な使いかた

好きな曲から演奏を始めるには……ダイレクト選曲

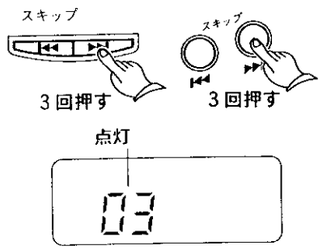
演奏する前に、本体のスキップ／サーチボタンまたはリモコンのスキップボタンで好きな曲番を選んでください。その曲番から演奏を始めます。

たとえば12曲入りのディスクの3曲目から演奏を始めるとき

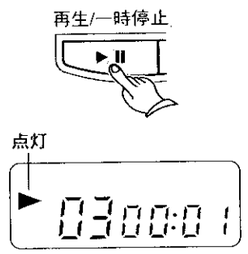
停止状態から操作します。



1 曲番を選ぶ。



2 演奏を始める。



- 本体のスキップ/サーチボタン、リモコンのスキップボタンは、停止中に押し続けると連続して曲番が変わります。最終曲でさらに押し続けると1曲目に戻ります。
- 本体のスキップ／サーチボタン、リモコンのスキップボタンの左側（⏮）を押すと前の曲へ戻ります。1曲目でさらに押し続けると最終曲に戻ります。

演奏中に好きな曲へ飛ぶには……スキップ選曲

たとえば5曲目演奏中のとき

次の曲（6曲目）を聴く	もう一度（5曲目）聴く	前の曲（4曲目）を聴く
[本体] [リモコン]	[本体] [リモコン]	[本体] [リモコン]
「ポン」と1回押す	「ポン」と1回押す	「ポン」「ポン」と2回押す
1回「ポン」と押すと、次の曲へ移り、押す回数により次の曲、次の曲へと移ります。	1回「ポン」と押すと、今聴いている曲の頭に戻ります。	連続して2回「ポン」「ポン」と押すと前の曲に戻り、押す回数により前の曲、前の曲へと戻ります。

ご注意

スキップ選曲を行なうときは、ボタンを「ポン」と短く押してください。
本体のスキップ／サーチボタンはスキップボタンとサーチボタンを兼用しているため、演奏中に押し続けるとマニュアルサーチ（13ページ参照）動作になります。

演奏中にすばやく好きなところをさがすには……マニュアルサーチ

演奏中に本体のスキップ/サーチボタンまたはリモコンのサーチボタンで早送り/早戻しができます。

早送り（前進）	早戻し（後退）
[本体] [リモコン]	[本体] [リモコン]
押し続ける	押し続ける
指をはなすと通常の演奏に戻ります。	指をはなすと通常の演奏に戻ります。

マニュアルサーチについて

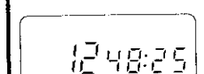
- 演奏中にマニュアルサーチを行なうと、音を聴きながら好きなところをさがせます。
- マニュアルサーチ中は、通常の演奏より小さな音になります。
- 一時停止状態でマニュアルサーチを行なうと、音を出さずに早送りや早戻しができます。
- 早戻しでマニュアルサーチ中にディスクの1曲目の始めまで戻ると1曲目の始めから演奏が始まります。（一時停止状態の場合には、1曲目の始めで一時停止状態となります。）また早送りで最終曲の終わりまでくると停止状態になります。
- プログラム演奏中に早送りをすると、その曲の終了したところで早送りが解除され、プログラム上の次の曲を演奏します。また早戻しをしたときは、その曲の頭で早戻しが解除され演奏が始まります。

好きな曲を選び好きな順番で演奏するには……プログラム選曲（リモコン操作のみ）

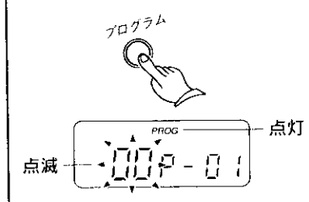
リモコンで最大20曲まで好きな順番でプログラム演奏ができます。

たとえば12曲入りのディスクで3曲目→12曲目の順に演奏するとき

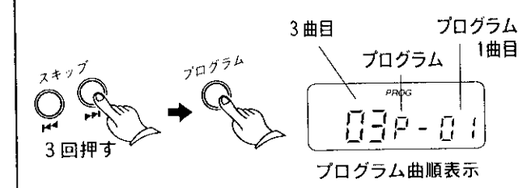
停止状態から操作します。



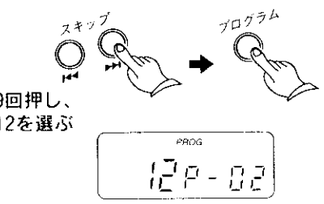
1 プログラムモードにする。



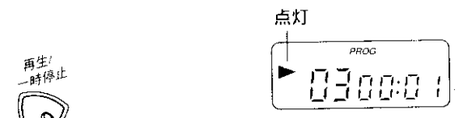
2 3曲目をメモリーする。



3 12曲目をメモリーする。



4 演奏を始める。



演奏が終わると、プログラムインジケーターは消えますがプログラムは残ります。

CD演奏の便利な使いかた（つづき）

プログラムの確認/変更・追加（リモコン操作のみ）

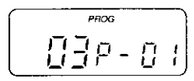
確認：プログラム終了後、プログラムボタンを押します。
ボタンを押すごとにプログラムした順に曲番が表示されます。

変更、追加：プログラムボタンで変更、追加したい曲番を選び、本体のスキップ／サーチボタンまたはリモコンのスキップボタンで選曲後、再度プログラムボタンを押せば、プログラムを変更、追加することができます。

プログラムの取消し

プログラム演奏の取消し：
演奏中、停止ボタンを押します。（メモリーされているプログラムは残ります。）

プログラムメモリーの取消し：
停止中、プログラムボタンを押して、右図のプログラム表示をさせます。この状態で停止ボタンを押すとメモリーが取り消されます。



プログラム演奏中にできる操作

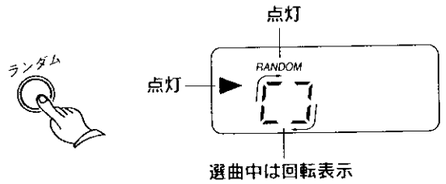
プログラムを消さずに、次の操作ができます。
- 停止
- 一時停止
- スキップ選曲（プログラムされている順に飛びます。）
- 早送り、早戻し
- くり返し演奏（プログラムされている曲の1曲または全曲）

このようなときプログラムは取り消されます

- ファンクション切換スイッチを「CD」から他に切り換えたとき。
- CDトレーを開いたとき。
- 電源を切ったとき。

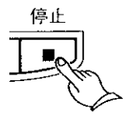
自動的に曲順を並べ変えて演奏するには....ランダムプレイ（リモコン操作のみ）

1 ランダムプレイを始める。



- ディスクに収められている曲の順番を自動的に並べ変えて演奏を始めます。
- ランダムプレイは、停止状態あるいは演奏中のどちらからでも始めることができます。

ランダムプレイを取り消すには



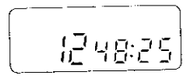
停止ボタンを押します。
- ディスク内のすべての曲を演奏し終わると、自動的に停止します。

ランダムプレイ中にできる操作

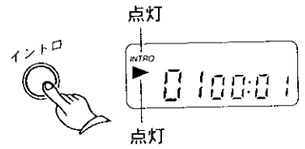
- 前進スキップボタン（▶▶I）を押すと、新たに曲順を変えて演奏します。
- 後退スキップボタン（I◀◀）を押すと、現在演奏している曲の頭に戻り演奏を始めます。前の曲には戻りません。
- 本体の前進スキップ/サーチ（▶▶I）、またはリモコンのサーチボタン（▶▶）を押し続けると、現在演奏されている曲が早送りされます。演奏している曲の終わりを越えると、新たに曲順を変えて演奏します。
- 本体の後退スキップ/サーチ（I◀◀）、またはリモコンのサーチボタン（◀◀）を押し続けると、現在演奏している曲が早戻しされ、その曲の頭から演奏状態になります。ランダムプレイモードは解除されません。
- リピートボタンを押すと、ランダムプレイのくり返し演奏ができます。
- ランダムプレイ中に再度ランダムプレイボタンを押すと、押した所から通常演奏になります。（ランダムプレイは取り消されます。）

曲の始めの部分（イントロ）を約10秒ずつ演奏するには ....イントロスキャン（リモコン操作のみ）

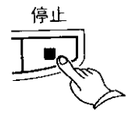
停止状態から操作します。



1 イントロスキャンを始める。



演奏を止めるときは



停止ボタンを押します。
- ディスク内のすべての曲を演奏し終わると、自動的に停止します。

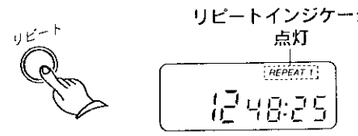
- イントロスキャン中に再度イントロスキャンボタンを押すと、押した所から通常演奏になります（イントロスキャンは取り消されます。）
- イントロスキャン中にリピートボタンを押すと、イントロスキャンの全曲くり返し演奏となります。
- イントロスキャン中にランダムプレイボタンを押すと、イントロスキャンのランダムプレイ演奏となります。

CD演奏の便利な使いかた（つづき）

1曲だけくり返し演奏するには……1曲リピート（リモコン操作のみ）

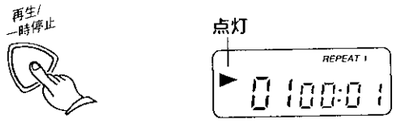
停止状態あるいは演奏中でも操作できます。

1 1曲リピートモードにする。



1回押す

2 演奏を始める。

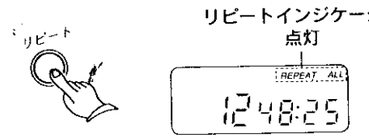


1曲だけをくり返し演奏します。

全曲をくり返し演奏するには……全曲リピート（リモコン操作のみ）

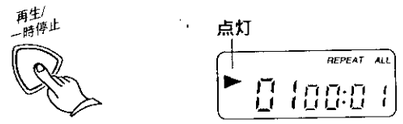
停止状態あるいは演奏中でも操作できます。

1 全曲リピートモードにする。



2回押す

2 演奏を始める。



全曲をくり返し演奏します。

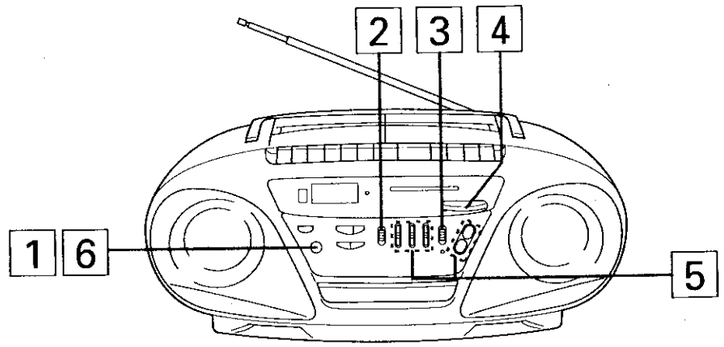
くり返し演奏の取り消し

- リピートボタンを押し（1曲リピートの場合は2回、全曲リピートの場合は1回）リピートインジケーターを消灯させます。
- 停止ボタンを押して演奏を停止したときもくり返し演奏は取り消されます。

便利な使いかた

- プログラム演奏中、リピートボタンを押すと、プログラムした曲をくり返し演奏することができます。（プログラムリピート）
- ランダムプレイ中あるいはイントロスキャン中にリピートボタンを押すと、ランダムプレイあるいはイントロスキャンのくり返し演奏をすることができます。（ランダムリピート、イントロスキャンリピート）
- くり返し演奏（1曲リピート、全曲リピート、プログラムリピート、ランダムリピート、イントロスキャンリピート）の設定は演奏中でもできます。

放送の受信

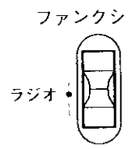


- リモコン マーク付きの操作は……リモコンでも操作できます。

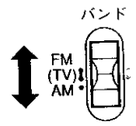
1 電源を入れる。

電源インジケーターが点灯します。

2 ファンクション切換スイッチを「ラジオ」に切り換える。

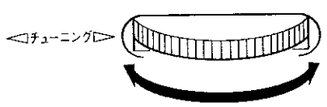


3 バンドを切り換える。



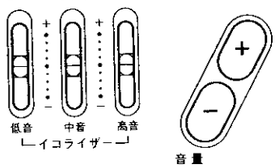
ご希望のバンドに切り換えます。

4 放送局を選ぶ。



5 音量・音質を調節する。リモコン

リモコン操作は音量調節のみです。



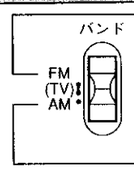
くわしくは8ページをご覧ください。

聴き終わったら……

6 電源を切る。

電源インジケーター消灯。

バンド切換スイッチの使いかた



FM放送やVHFテレビ放送（1～3CH）を聴くとき

AM放送を聴くとき

放送の受信（つづき）

FMモード切換スイッチについて

● FM放送を聴くとき

FMステレオ放送をステレオで聴くとき
FMステレオ放送を受信すると、FMステレオインジケーターが点灯します。

FM放送をモノラルで聴くとき
FM放送をステレオで聴くとき雑音が多かったり、音声が途切れるような場合には、この位置にします。ステレオで聴くことはできませんが、雑音や音切れが軽減されます。

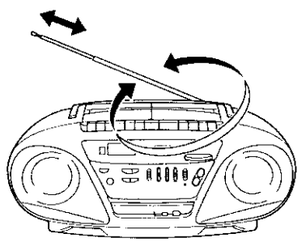
ご注意

- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、テレビ放送を受信していると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- 本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用していますので、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

アンテナについて

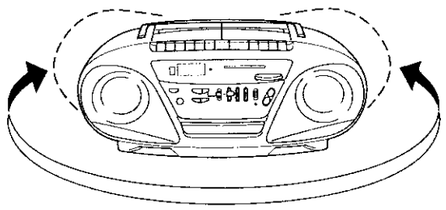
●ラジオ、TV放送を聴くには、アンテナが重要なはたらきをします。

FM放送、TV放送を聴くとき



ロッドアンテナを伸ばし、角度・方向・長さを調節して、雑音が最も小さく、放送がきれいに聴こえる位置を選びます。

AM放送を聴くとき

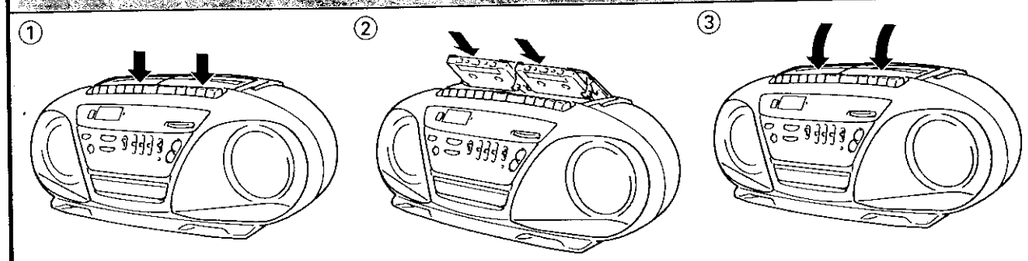


本機をゆっくり回して、雑音が最も小さく、放送がきれいに聴こえる方向を選びます。

●FM放送やTV放送をお聴きになるとき、他の放送と混信する場合には、ロッドアンテナを縮めてください。

テープ再生・録音を始める前に

カセットテープの入れかた



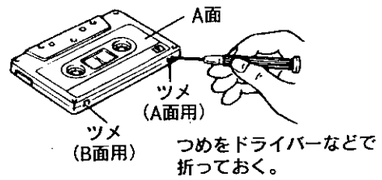
① 停止/取出しボタン(■/▲)を押します。

② テープの見える方を手前にして録音や再生したい面を上にして入れます。

③ カセットホルダーを閉じます。

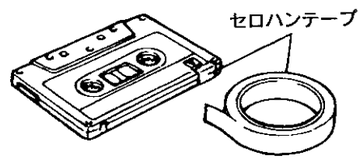
カセットテープについて

大切な録音内容を誤って消さないようにするには



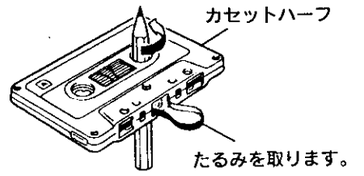
録音すると、前に録音した内容は消えてしまいます。「つめ」の部分を折り取ると録音できなくなり、誤って消すことがありません。

「つめ」を折ったテープに録音するには



穴の上にセロハンテープを貼ると、録音ができるようになります。

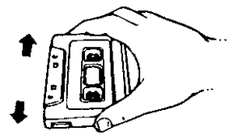
テープがたるんだときは



鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。

テープがかたく巻きしまったときは

テーブルなどの上でカセットテープの両面を軽く数回たたくか、一度巻き直してからご使用ください。



使用できるテープについて

本機で録音、再生できるテープはノーマルテープ（TYPE Ⅰ）のみです。

C-120テープは

このテープは薄いため、テープがかたく巻きしまったり、テープ巻き込み、からみなどの原因となりやすいので、できるだけ使用をさけてください。

エンドレステープ

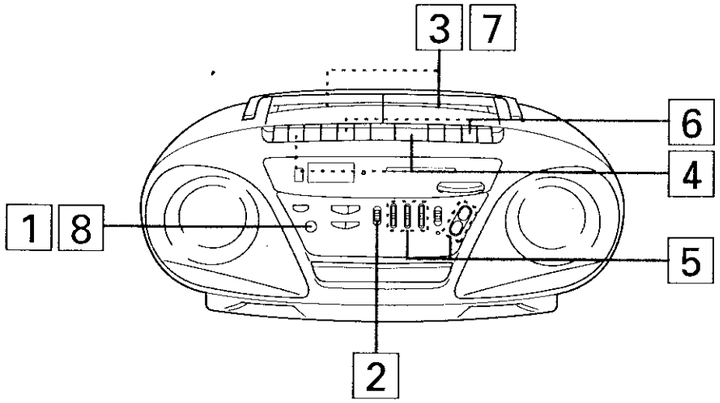
本機でエンドレステープを使用することはできません。

保管するときは

プラスチックケースに入れ、直射日光、高温多湿、磁気およびほこりの多い場所をさけてください。

再生してみましょう（TAPE1 TAPE2）

●本機で再生できるテープはノーマルテープ（TYPE I）のみです。

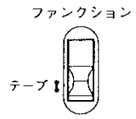


● リモコン マーク付きの操作は……リモコンでも操作できます。

1 電源を入れる。

電源インジケーターが点灯します。

2 ファンクション切換スイッチを「テープ」に切り換える。



3 テープを入れる。

19 ページ

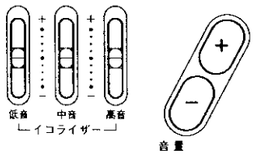
「カセットテープの入れかた」にしたがってカセットテープを入れます。

4 再生を始める。

TAPE1　　TAPE2

5 音量・音質を調節する。 リモコン

リモコン操作は音量調節のみです。



くわしくは 8 ページをご覧ください。

聴き終わったら……

6 テープを止める。

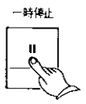
7 テープを出す。

テープを取り出します。

8 電源を切る。

電源インジケーター消灯。

再生中の一時停止



再生を再開するときは、もう一度押します。

TAPE1、TAPE2を同時に再生すると……

TAPE1、TAPE2を同時に再生状態にするとスピーカーからはTAPE1の音が聴こえます。（TAPE1優先）

再生の便利な使いかた

TAPE1, TAPE2のテープを続けて再生するには……連続再生

連続再生はTAPE1からTAPE2の方向に始まります。逆の方向には始まりません。

1 電源を入れる。

電源インジケーターが点灯します。

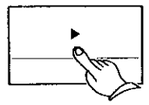
2 ファンクション切換えイッチを「テープ」に切り換える。

3 テープを入れる。

19 ページ

「カセットテープの入れかた」にしたがってTAPE1, TAPE2にカセットテープを入れます。

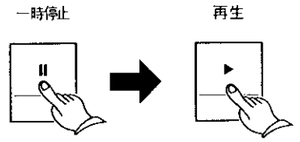
4 TAPE1を再生する。



TAPE1の再生が始まります。

●音量、音質を調節します。

5 TAPE2を再生待機状態にする。



TAPE2の一時停止ボタンを押した後、再生ボタンを押します。

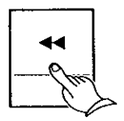
TAPE1の再生が終わると、TAPE2の再生が自動的に始まります。

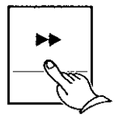
6 聴き終わったら……

20 ページ　「再生してみましょう」の6～8の操作を行ないます。

巻戻し、早送りは

●巻戻し　　●早送り





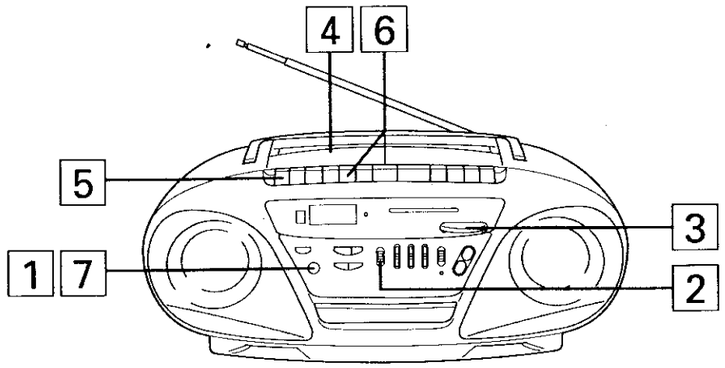
巻戻し、早送りを行なうときは、停止/取出しボタンを押して、停止状態にしてから操作してください。

フルオートストップ機構について

再生、録音、早送り、巻戻しのとき、テープが最後までくるとテープは自動的に停止し、押されているボタンも元に戻ります。

録音するには....ラジオ録音(TAPE2)

●本機で録音できるテープはノーマルテープ（TYPE I）のみです。



1 電源を入れる。

電源インジケーターが点灯します。

2 ファンクション切換スイッチを「ラジオ」に切り換える。

3 放送の受信。

17 ページ

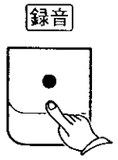
録音したい放送を選びます。

4 テープを入れる。

19 ページ

「カセットテープの入れかた」にしたがって録音するカセットテープをTAPE2に入れます。
※「つめ」が折れているテープは録音できません。（19ページ参照）

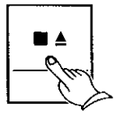
5 録音を始める。



録音ボタンを押します。
（同時に再生ボタンも押し込まれます。）
録音レベルは自動的に調節されます。

録音が終わったら…

6 テープを止める。



7 電源を切る。

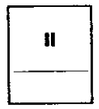
電源インジケーター消灯

一時停止状態にしてから録音を始めるには

1.カセットテープを入れた後、一時停止ボタンを押します。
2.録音ボタンを押し、録音一時停止状態にします。
3.録音を始めるには、もう一度一時停止ボタンを押します。

録音中の一時停止

一時停止



録音を再開するときはもう一度押します。

録音するときのご注意

●大切な録音の場合は、必ず事前に試しに録音して正常に録音されていることを確認してください。
●ご使用中、万一本機やテープなどの不具合により、録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
●本機は、クロム・メタルテープでの録音はできません。（音質が悪くなったり、録音済の音が消えない現象が起きます。）

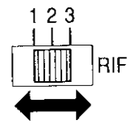
録音内容を消去するには

録音済みのテープに新しく録音すると、前の録音内容は消えますが、新しい録音をしないで前の録音内容を消したいときは、次のようにします。
●ファンクション切換スイッチを「テープ」にして録音の操作を行ないます。

上手に録音するには

●カセットテープの巻き始めと巻き終わりの部分には、透明または半透明のリーダーテープがありますが、この部分には録音できません。鉛筆などを使ってあらかじめリーダーテープ部を巻き上げておくと、頭切れのない録音ができます。

●AM放送を録音中、「ピー」というビート音が出る場合は、後面のビートキャンセルスイッチ（RIF）を切り換えてビート音が最も小さくなる位置にします。



著作権について

あなたが本機で録音したものは、個人で楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。（31ページ参照）

録音するには ……CD録音(TAPE2)

ワンタッチでCDを録音するには ……CDシンクロ録音

1 電源を入れる。

電源インジケーターが点灯します。

2 ファンクション切換スイッチを「CD」に切り換える。

3 ディスクを入れる。

10 ページ

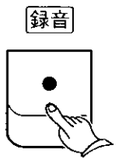
「CDを演奏してみましょう」の3~5の操作を行ないます。

4 テープを入れる。

19 ページ

「カセットテープの入れかた」にしたがって録音するテープを入れます。

5 CDシンクロ録音開始。

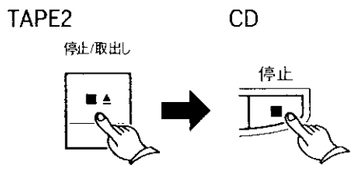


録音ボタンを押すと、CDは約7秒間一時停止状態(❚❚)になり、その後CDの録音が始まります。

- 録音レベルは自動的に調節されます。
- 音量、音質調節は、録音レベルに関係ありません。

録音が終わったら…

6 停止ボタンを押す。



TAPE2の停止/取出しボタンを押すと、ディスクは一時停止状態となります。その後、CDの停止ボタンを押してCDを停止させます。

- CDの停止ボタンを押すと、ディスクは止りますがTAPEの録音は続きますので、TAPE2の停止/取出しボタンを押してTAPEの録音を止めてください。

7 ディスク、テープを取り出す。

ディスクとテープを取り出します。

8 電源を切る。

電源インジケーター消灯。

便利な使いかた

CDシンクロ録音中にテープの片面を録音終了すると、CDは一時停止状態となります。(CDシンクロ録音は解除されません。)その後テープを入れ換えて、TAPEの録音ボタンを押すと続けてCDシンクロ録音をすることができます。

- CDをテープの両面に録音するとき、テープの片面の録音が終止すると、録音が止った所でCDが一時停止状態となりますので、テープを反対面に入れ換えれば、録音が止った所から再び録音をすることができ便利です。

ご注意

- CDシンクロ録音中に働くCD操作部ボタンは停止ボタンのみです。停止ボタン以外は受け付けません。
- 好きな曲からCDシンクロ録音を始めるときには、12ページのダイレクト選曲で曲番を選んでから録音ボタンを押します。また13ページでプログラムした曲の順に録音することもできます。
- 録音中に、ファンクション切換スイッチをCD以外に切り換えますと、CDの演奏は停止しますが、テープの録音はそのまま続きます。

録音するには ……テープ録音(ダビング)

TAPE1 からTAPE2へダビングします。
高速ダビングも可能で、通常の約半分の時間でダビングすることができます。

1 電源を入れる。

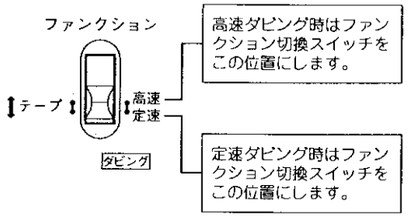
電源インジケーターが点灯します。

2 TAPE1に再生用、TAPE2に録音用テープを入れる。

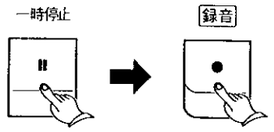
19 ページ

「カセットテープの入れかた」にしたがって再生用のテープをTAPE1に、録音用のテープをTAPE2に入れます。

3 ファンクション切換えスイッチを「テープ」にし、ダビングスピードを選ぶ。

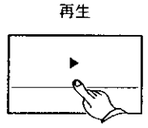


4 TAPE2を録音一時停止にする。



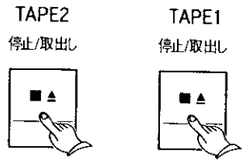
TAPE2の一時停止ボタンを押した後、録音ボタンを押します。

5 TAPE1を再生にする。



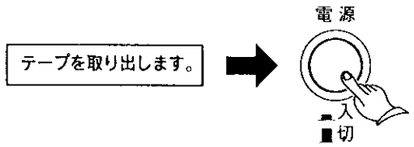
TAPE2の一時停止ボタンが解除されダビングが始まります。

ダビングを停止するには



TAPE2の停止/取出しボタン、TAPE1の停止/取出しボタンを押します。

ダビングが終わったら‥‥



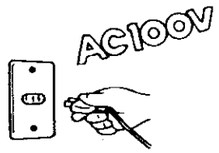
電源インジケーター消灯。

ダビング時のご注意

- ダビングの回数を重ねると、徐々に音質が悪くなることがあります。
- テレビの近くで高速ダビングを行なうと、雑音が録音されることがあります。
  そのときはテレビの電源を切るか、テレビから放した位置で行なってください。
- 走行時間の異なるテープをTAPE1、TAPE2に使用するときは、再生・録音時間を確かめてダビングを行なってください。

特に注意していただきたいこと

AC100Vを使用
家庭用電源で使用されるときは、必ずAC(交流)100Vにつないでください。



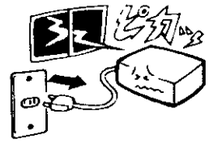
電源コードは大切に
電源コードは、必ずプラグを持って抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししたり、傷がついた電源コードを使うと危険です。

ケースは絶対に開けない
ケースを開けて内部に触れたり、金属物を入れますと、感電したり故障の原因になります。

放熱効果を良くしてください
狭い場所に置いたり、通風孔をふさぐと放熱が悪くなり故障の原因になります。

長期間ご使用にならないとき
万一の事故を防ぐために、旅行などで長い間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、乾電池で使用しているときは、電池を取り出しておいてください。入れたままにしておきますと、乾電池の液もれによって腐食し、故障の原因になります。

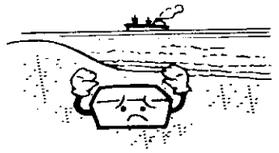
雷が鳴り出したら
電源プラグをコンセントから抜いてください。また屋外で使用しているときは、アンテナをたたんで使用を中止してください。



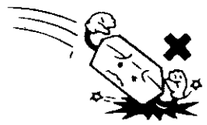
高温は故障の原因
直射日光のあたる場所やストーブのような熱器具の近く、および炎天下に駐車した自動車内で使用すると、ケースや部品に悪い影響を与えます。

湿気・ホコリ・水気は禁物
湿気・ホコリや水気の少ないところで使用してください。内部に水が入ると感電したり、故障の原因になります。

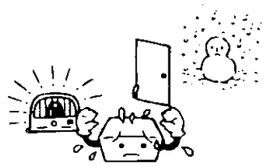
砂は禁物
海辺や砂地では使用しないでください。
砂などが内部に入ると故障の原因になります。



衝撃を与えないでください
落としたり、物にあてたりして、強い衝撃を与えないでください。故障したり、性能が十分発揮できないことがあります。



温度差のある所への移動は禁物
寒い所から急に暖かい所への移動は避けてください。故障の原因となります。



持ち運びには
持ち運びをするときは、アンテナをたたんでください。のばしたまま持ち運びすると、アンテナが折れたりする原因になります。

本機内のレンズやセンサーの表面にゴミや浮遊物などが付着いたしますと、正確な動作をしなくなることがあります。
設置場所により定期的な清掃が必要になります。

本機の周囲での超音波加湿器のご使用は避けてください。
本機の周囲で超音波加湿器を使用いたしますと、加湿器に使用する水の水質によっては、水中にとけているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機のレンズやセンサーの表面に白い粉として付着し、正常な動作をしなくなることがありますのでご注意ください。

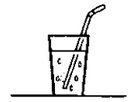
お手入れのしかた

お手入れについて

ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどをつけたりしますと、塗装がはがれたり変色することがあります。表面の汚れは柔らかい布でふいてください。

結露について

冷えている本機を暖かい部屋へ急に移すとCDプレーヤー部の信号を読み取るピックアップレンズに水滴がついて(結露現象)、正しく動作しないことがあります。このような場合には1〜2時間待ってから使用してください。

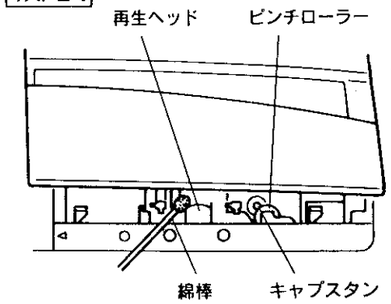


ヘッドの清掃

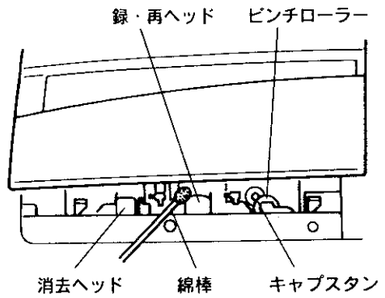
カセットレコーダーは使っているうちに、ヘッドなどテープ走行面がしだいに汚れます。汚れたままで使うと音がでなかったり、途切れたりします。約10時間使用しましたら、次の手順でヘッドの清掃を行なってください。

①電源を切り、停止/取出しボタンを押してカセットホルダーを開けます。
②綿棒に市販のクリーニング液をしみ込ませて、ヘッドやピンチローラー、キャプスタンを軽くふきます。

TAPE 1



TAPE 2



故障かな？と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。なおアフターサービスについては31ページをご覧ください。

	症　状		原因と思われるところ	適切な処置方法
CD部	CDプレーヤーが演奏しない。		1. ディスクが裏返しになっている。 2. ディスクが汚れている。 3. 規格外のディスクを使用している。 4. ディスクに傷があったり、そっている。	1. ディスクを入れなおす。 2. ディスクの表面をきれいにふく。 3. ディスクを交換してみる。 4. ディスクを交換してみる。
	CDの音が途切れる		1. ディスクに傷などの欠陥がある。 2. ディスクが汚れている。	1. ディスクを交換してみる。 2. ディスクの表面をきれいにふく。
ラジオ部	FM放送のとき	"シャー"という音が出る。特にステレオ受信時にめだつ。	1. アンテナの入力電波が弱い。	1. ロッドアンテナの方向を変えてみてください。
	AM放送のとき	"ジー"という音が出る。特に夜間や電波の弱い局ほど大きい。	1. セットの近くにある電気器具(テレビ、蛍光灯など)の影響を受けている。	1. 電気器具の電源を切ったとき、雑音が消えるときは、その器具からセットを離してください。
		"ブーン"という音(同調ハム)が出る。		1. 電源プラグの差し込みを逆にすれば直ることもあります。
共通部	電源スイッチを入れても電源が入らない。		1. 電源コードの接続が不完全。 2. 乾電池が消耗している。 3. 乾電池の向きがまちがっている。	1. 確実に接続する。 2. 新しい乾電池と交換する。 3. 乾電池の向きを正しく入れる。
	スピーカーから音が出ない。		1. 音量調節が最小になっている。 2. ヘッドホンが接続されている。	1. 音量調節ボタンで音量を上げる。 2. ヘッドホンをはずす。
テープ部	カセットテープが入らない。		1. カセットテープの向きが前後逆になっている。	1. テープが見える側を手前にして入れる。
	テープの音が悪かったり、ひずんだりする。		1. ヘッドが汚れている。 2. 乾電池が消耗している。	1. ヘッドを清掃する。 2. 新しい乾電池と交換する。
	録音できない。		1. カセットテープの誤消去防止「つめ」が折れている 2. 一時停止ボタンが押されている。	1. 「つめ」を確認する。(19ページ参照) 2. 一時停止ボタンを押し、一時停止を解除する。
	録音ボタンが押せない。		1. カセットテープが入っていない。 2. カセットテープの「つめ」が折れている。	1. 「つめ」の折れていないカセットテープを入れる。 2. 「つめ」の折れていないカセットテープを入れる。または、折れた「つめ」の穴をテープでふさぐ。(19ページ参照)

仕様

● 仕様およびデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

■ラジオ部

受信周波数	FM/TV1～3 CH：76～108 MHz AM：530～1,605 kHz
中間周波数	FM/TV：10.7 MHz、AM：455 kHz
アンテナ	FM/TV：ロッドアンテナ AM：フェライトアンテナ

■テープレコーダー部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
テープ	ノーマル
周波数特性	ノーマル：40～13,000 Hz

■CDプレーヤー部

使用ディスク	コンパクトディスク 直径：120mmおよび80mm
周波数特性	20～20,000 Hz
チャンネル数	2チャンネル
ピックアップ	半導体レーザーピックアップ

■共通部

スピーカー	10cmコーン型
出力端子	ヘッドホン出力：(3.5φステレオミニジャック) 適合インピーダンス 8～300Ω
(インピーダンス)	
実用最大出力	4W＋4W(EIAJ/AC)
電池接続時間	〔単1形乾電池R20P(G)使用時〕 約3時間(EIAJ CDプレーヤー再生時) 約17時間(EIAJ FM入力信号録音時)
電源	本体用：AC 100V、50/60Hz共用 (付属の電源コード使用) ：DC12V単1乾電池8個使用 (別売り) リモコン用：DC3V単4乾電池2個使用 (R03(SG)付属品)
消費電力	22W
最大外形寸法	522(幅)×195(高さ)×262(奥行き)mm
質量(重量)	約5.6kg(乾電池含む)

■付属品

ワイヤレスリモコン(RB-CX17W) 1
単4乾電池(リモコン用) 2
電源コード 1

●仕様およびデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください。）

修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、「故障かな？と考える前に」（29ページ）をお調べください。それでも不具合いな場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。
①形名：CX-17W
②症状：できるだけ詳しく

転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取り扱店を紹介させていただきます。

アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙（黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口にお問い合わせください。

保証について

●この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

CDラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■著作権についてのご注意

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。
従って音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。
たとえば、
●放送やレコード、録音物から録音したテープを売ったり、配ったりすること、あるいは貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
●レコードや録音物またはそれから録音したテープや、放送から録音したテープを営利(店のBGMなど)のために使用すること。
これらの場合には著作権法上権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会(JASRAC)」もしくはもよりの支部におたずねください。

社団法人 日本音楽著作権協会（JASRAC）
〒105 東京都港区西新橋1-7-13
TEL (03) 3502-6551（大代表）FAX (03) 3508-8183
●北海道支部（業務地域 北海道）
〒060 札幌市中央区北1条西3-2 大和銀行札幌ビル
TEL (011) 221-5088（代表）FAX (011) 221-1311
●盛岡支部（業務地域 岩手・青森・秋田）
〒020 盛岡市菜園1-3-6 農林会館
TEL (0196) 52-3201（代表）FAX (0196) 52-4010
●仙台支部（業務地域 宮城・山形・福島）
〒980 仙台市青葉区中央2-1-7 仙台三和ビル
TEL (022) 264-2266（代表）FAX (022) 265-2706
●大宮支部（業務地域 埼玉・栃木・群馬・長野・新潟）
〒331 大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル
TEL (048) 643-5461（代表）FAX (048) 643-3567
●東京支部（業務地域 東京都東部・千葉・茨城）
〒104 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目
TEL (03) 3562-4455（代表）FAX (03) 3562-4457
●西東京支部（業務地域 東京都西部・山梨）
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 第5荒井ビル
TEL (03) 3232-8301（代表）FAX (03) 3232-7798
●横浜支部（業務地域 神奈川）
〒231 横浜市中区日本大通り60 朝日生命横浜ビル
TEL (045) 662-6551（代表）FAX (045) 662-6548
●静岡支部（業務地域 静岡）
〒420 静岡市追手町9-22 読売静岡ビル
TEL (054) 254-2621（代表）FAX (054) 254-0285
●中部支部（業務地域 愛知・岐阜・三重）
〒450 名古屋市中村区名駅2-45-7 松岡ビル
TEL (052) 583-7590（代表）FAX (052) 583-7594
●北陸支部（業務地域 石川 富山・福井）
〒920 金沢市香林坊2-3-25 金沢日産生命ビル
TEL (0762) 21-3602（代表）FAX (0762) 21-6109
●京都支部（業務地域 京都・滋賀・奈良）
〒600 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビル
TEL (075) 251-0134（代表）FAX (075) 251-0414
●大阪支部（業務地域 大阪南部・和歌山）
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-0351（代表）FAX (06) 244-1970
●大阪北支部（業務地域 大阪北部）
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-7077（代表）FAX (06) 244-1970
●神戸支部（業務地域 兵庫）
〒650 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビルII
TEL (078) 322-0561（代表）FAX (078) 322-0975
●中国支部（業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根）
〒730 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル
TEL (082) 249-6362（代表）FAX (082) 246-4396
●四国支部（業務地域 香川・徳島・高知・愛媛）
〒760 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル
TEL (0878) 21-9191（代表）FAX (0878) 22-5083
●九州支部（業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本）
〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル
TEL (092) 441-2285（代表）FAX (092) 441-4218
●鹿児島支部（業務地域 鹿児島・宮崎）
〒892 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル
TEL (0992) 24-6211（代表）FAX (0992) 24-6106
●那覇支部（業務地域 沖縄）
〒900 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル
TEL (098) 863-1228（代表）FAX (098) 866-5074